

令和 8年度予算見積調書

課室名：人権教育課
担当名：企画・支援担当
内線：6897

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P55	学校におけるヤングケアラー支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	人権教育推進費	
事業期間	令和 3年度～ 令和 8年度	根拠法令	埼玉県ケアラー支援条例			針路 分野施策	02 県民の暮らしの安心確保 0206 生活の安心支援	SDGsゴール 4 SDGsターゲット 4-7	
1 事業概要 児童生徒及び教職員に対して、埼玉県ケアラー支援条例の趣旨に沿った理解増進を図るとともに適切な相談支援を受けられる環境を整備する。 ヤングケアラーサポートクラス 3,275千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ヤングケアラーサポートクラス 3,275千円 ア 「ヤングケアラーの専門家」及び「元ヤングケアラー」を講師として招聘し、市町村を対象とした講演会等を実施する。 イ 指導資料等を活用したヤングケアラーに関する授業と学校の実情に応じたヤングケアラー支援策をセットにした県立高校独自のヤングケアラーサポートクラスを実施する。 ウ 「福祉分野の専門家」及び「元ヤングケアラー」を講師として招聘し、市町村及び県立学校を対象とした学校におけるヤングケアラー支援に関する教職員向けの研修会を実施する。 (2) 事業計画 ヤングケアラーサポートクラス ア 市町村を対象とした「ヤングケアラーサポートクラス」の実施 7回 イ 県立高校を対象とした「自走式ヤングケアラーサポートクラス」の実施 31校 ウ 市町村及び県立学校を対象とした「ヤングケアラーサポート教職員研修会」の実施 3回 (3) 事業効果 ヤングケアラーに対する適切な理解を基盤としたヤングケアラーが気軽に相談できる環境の整備が図れる。 【活動指標(アウトプット)】 ヤングケアラーサポートクラスの実施 7回 自走式ヤングケアラーサポートクラスの実施 31校 ヤングケアラーサポート教職員研修会の実施 3回 【成果指標(アウトカム)】 児童生徒や学校関係者の理解が深まることで、当事者が友達や学校関係者に相談しやすい態度や雰囲気を醸成する。 ヤングケアラーの支援を行った学校の割合(公立小中高) 80%					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	3,275							3,275	△1,169
前年額	4,444							4,444	

事業内訳書

事業名	学校におけるヤングケアラー支援事業		
単位事業名	ヤングケアラーサポートクラス	予算額	3,275千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,275	△1,169	
合計	3,275	△1,169	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	1,150	△350	県立高校対象のヤングケアラーサポートクラスに係る講師謝金
旅費	29	△29	市町村対象のヤングケアラーサポートクラスに係る職員旅費
需用費	85	△40	県立高校対象のヤングケアラーサポートクラスに係る消耗品代
委託料	2,011	△750	市町村対象のヤングケアラーサポートクラス運営業務委託
合計	3,275	△1,169	